

CAPM・証券投資理論を理解するための
対面方式(スクーリング)の
「ポートフォリオ理論初級講座」新設のご案内

2010年2月から、証券アナリストのための「ポートフォリオ理論初級講座」を新設します。この講座は対面方式(スクーリング)で、主に証券アナリスト教育プログラム(1次レベル)の中の現代ポートフォリオ理論について理解を深めることを目指しています。

1. 参加対象者

証券アナリスト1次レベル受講者のみならず、2次レベル受講者やCIIA試験参加登録者で「現代ポートフォリオ理論」について知識の再整理・再学習をお考えの検定会員の方、さらに法人会員・賛助会員の役職員の方々等にも広くお勧めします。奮ってご参加ください。なお、数学の基礎知識については、当協会の「数量分析入門教室」レベルの知識を修得されていることを前提とします。(本紙末尾の「受講に際しての必要な基礎知識」をご確認の上、数学の基礎知識に不安のある方は、予め「数量分析入門教室」の受講を推奨します)

2. 「ポートフォリオ理論初級講座」の特徴

学習効率の高い対面方式でのフェイス・トゥ・フェイスの授業。

「CAPM」、「 β 」などを中心に、証券アナリストにとって不可欠の「証券投資理論」の基本であり、投資実務に应用されている「現代ポートフォリオ理論」を平易に解説(証券アナリスト試験第1次レベルの問題解説も適宜行い、理解度を深める構成)。数量分析入門教室で好評の佐井先生・今長谷先生の2講師による懇切丁寧な講義。

佐井 りさ 氏 (東京大学大学院経済学研究科金融システム専攻博士課程)

今長谷 拓 氏 (東京大学大学院経済学研究科金融システム専攻修士課程)

土曜日2日間の延10時間の短期集中型プログラム。

3. 本講座の内容と開催日程等

開催日： 2010年2月20日、27日の土曜日2回

時間： 10:00 ~ 16:30 (講義時間5時間)

場所： 当協会・第1セミナールーム(東証ビル6階)

本講座の主要学習項目

- ✓ 効率的フロンティア、2資産最適化、マーケットポートフォリオ、資本市場線
- ✓ CAPM、リスクプレミアム、市場リスクと非市場リスク、証券市場線
- ✓ ベータ、アルファ、シングル・ファクターモデル(マーケット・モデル)
- ✓ シャープレシオとジェンセンの α 、情報比(インフォメーション・レシオ)

2009年11月9日

- ✓ APT、マルチ・ファクターモデル、ファーマ=フレンチのファクター・モデル
- ✓ 市場の効率性、ランダムウォーク、アノマリー

参加料 22,000円(消費税込み)

(但し、受講者、検定会員、検定会員補、法人会員・賛助会員の役職員向け料金)

講座テキスト

(A) 講義レジュメ

(B) 当協会の証券アナリスト第1次レベル通信教育講座テキスト「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」第3回「現代ポートフォリオ理論」

- ・ 講座テキスト(A)は参加料ご入金確認後、2月初旬に送付します。
- ・ 講座テキスト(B)をお持ちでない方は、協会ホームページ「講座・試験」画面の「パンフレット・教材」よりお買い求めください。

なお、講座テキスト(B)は、講義では2009年度版を使用しますが、2006年度以降の当該通信教育講座テキストでも対応可能です。

さらに学びたい方には、「新・証券投資論 理論編」(日本証券アナリスト協会編、日本経済新聞出版社刊、小林孝雄・芹田敏夫編、価格4200円)をお勧めします。マイページの「インターネット販売」--- 推奨図書からお買い求めください。協会ホームページ「パンフレット・教材」より購入申込書を入手して申込むこともできます。会員・通信教育講座受講者は割引価格3400円(税込、送料別)で購入できます。

受講票の送付

受講票は、参加料のご入金確認後、メールでお届けします。

4. 参加申込受け付け

定員 100名 (定員に達し次第申込受け付けを終了します)

11月9日(月)より、当協会ホームページから参加申込を受け付けます。お申込みはインターネット経由のみとなります。

お問い合わせ先 (社)日本証券アナリスト協会 教育運営: TEL 03 3666 1511 E-mail education@saa.or.jp
--

以上

【受講に際しての必要な基礎知識】

「ポートフォリオ理論初級講座」の講義では、初歩統計学・ポートフォリオのリスクとリターンについて理解していることを前提としています。以下をご確認ください。

① 初歩統計学の理解がある。具体的には次の概念を理解している。

期待値、分散、標準偏差、共分散、相関係数、回帰分析。

② ポートフォリオのリスクとリターンが次によって計算されることを理解している。

ポートフォリオのリターン： $R_p = w_1R_1 + w_2R_2 + \dots + w_nR_n$ ($w_1 + w_2 + \dots + w_n = 1$)

期待値： $E(R_p) = w_1E(R_1) + w_2E(R_2) + \dots + w_nE(R_n)$

分散： $Var(R_p) = w_1^2Var(R_1) + w_2^2Var(R_2) + \dots + w_n^2Var(R_n) + 2w_1w_2Cov(R_1, R_2) + 2w_1w_3Cov(R_1, R_3) + \dots + 2w_{n-1}w_nCov(R_{n-1}, R_n)$

(R_p : ポートフォリオのリターン、 R_1, R_2, \dots, R_n : 個別証券のリターン、

w_1, w_2, \dots, w_n : 個別証券への投資比率)

以上